

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リハビリ発達支援ルームUTキッズ田原本(放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	令和 7年 1月 4日		～ 令和 7年 1月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32人	(回答者数) 21人
○従業者評価実施期間	令和 6年 12月 10日		～ 令和 6年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 1月 29日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員や保護者の方、関係機関と支援内容を共有できていること。	個別支援計画書を作成する中で、今の現状や目標になる課題を職員間で共有したり、意見の出し合いをしています。	モニタリング内容や療育での子どもの様子、発達段階を踏まえた話し合いの時間を確保できるように努めていきます。
2	保護者同室が可能な事業所の為、本人支援に加え家族支援も強化して行える環境になっていること。	園や学校の様子を聞くようにしています。 子どもの来所時に情報共有や確認が必要なことを確認しています。 同室にて見ておられる保護者の方に、療育のことについて話しています。 子どもからの情報も保護者の方と共有しています。 フィードバック時に共有・共感をしたり、なぜできるようになったかを伝えています。また、できたことを共有し、自宅での取り組みも子どもの成長につながっていることを伝えています。	保護者同士のコミュニケーションの場を作りたいと考えています。 療育見るウィークをつくり、保護者の方にも一緒に療育に参加してもらえる機会を増やしていけるように努めていきます。 親子イベントなども企画していきたいです。また、集団が難しい方もおられるので、個別対応もできるようにしていきます。
3	職員間で話しやすい環境が整っている為、子どものことや保護者のこと、療育に関してのことなど安心して相談できています。	職員それぞれに考え方が異なるため、伝え方は気をつけています。 相手のことを思いやる気持ちを大切にしています。	職員間でのコミュニケーションをさらに強化できるように気を遣わず発信できる環境を作っていきます。 感謝の気持ちや思いやりを常に持ち、行動できるようにしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員同士の距離感が近い為、人任せになりがちなこと。	職員それぞれに自分の意見をもっているが、自分事としての発信力が低く行動に起こしにくいことがあります。	事前準備や会議を行う日などの期限を設け、職員それぞれが意識を高めて、自分事として考え発信していけるように努めていきます。
2	様々な遊具・玩具の収納場所が限られている為、視覚的な環境調整が難しいこと。	遊具など物を片付けるスペースが少なく、大型遊具は療育室の壁沿いに設置されている状態です。また、玩具などの細かい物はロッカーに入れているが、カーテンでの目隠しになっているので子どもたちが自分で取ることができる状態です。	物品を厳選して、整理整頓を行っていきます。また、視覚情報としてルールの提示を行っていきます。
3	駐車場が狭く危険なことに合わせて、施設が道路に面しているが塀などで囲われていない為、子どもが飛び出してしまうなどのリスクがあること。	駐車場の入れ替え時、混雑してしまう事が多くあります。	時間厳守で療育を終えられるように心がけていきます。また、要点をまとめてフィードバックができるように努めていきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 リハビリ発達支援ルームUTキッズ田原本

公表日 令和 7年 3月 18日

利用児童数 令和 7年 1月 31日

回収数 21

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	7	1	1	大丈夫と思います。 室内で人数が多い時は、少し狭いのかも？ いつも多いわけではないし、広い・狭いも経験値だとは思っています。 走ったりできないのが残念。 外での活動もありますが、小集団とはいえ室内の活動は狭いという印象が否めなと思います もう少しスペースがあればいいなあと 思う。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	20	1	0	0	いざとなったら奥からヘルプに来てくださる。 先生方々はいつも一生懸命取り込んで 頂いてる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	5	0	1	特になし	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18	3	0	0	大丈夫です	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	0	0	2		HP等に公表している支援プログラムやお子様一人ひとりに合った支援を行えるように努めています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21	0	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	1	0	3		個別支援計画書にお子様に合わせて項目を記載させていただいております。説明時に詳細をお伝えし、ご同意いただけるように努めていきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	1	0	1		お子様一人ひとりに合わせた個別支援計画書に沿って支援を行っています。ご不明な点等ございましたらお気軽にお声かけください。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	1	0	2		今後も、固定化されないようにお子様一人ひとりに合った支援を行っていきけるように心がけていきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	4	8	2		地域のイベントや活動の情報がある時は、掲示板に貼り出しています。事業所としては、現在交流会の機会は設けていません。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	1	0	1		変更等があった際には、その都度説明させて頂いています。支援内容についても見直しの時期に計画書を含め説明させて頂いています。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	0	0	1		療育終了後に毎回振り返りをさせて頂いています。また、支援内容は見直しの時期に個別支援計画書を提示しながら説明させて頂いています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	5	0	6		ペアレントトレーニングという形では行えていませんが、療育後の振り返り時ご自宅での工夫などをお伝えできるように努めています。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	20	1	0	0	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	3	0	2	定期的にお話しできる機会を設けていけるように心がけていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	0	0	0	親の悩み事もよく聞いてくださり、いつもいいアドバイスをいただいて助かっています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	7	4	5	父母の会の活動については、現在は実施していません。ご家族への支援としては個々に対応させていただいています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	1	0	2	個別支援計画書への記載をしています。お悩み等、何かありましたらご対応させていただきますので、お気軽にご連絡頂ければと思います。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	1	0	0	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	12	4	0	5	貼り出しやホームページを通じて情報の提供をしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	2	0	0	前に契約書を他の利用者さんと間違えて渡されていたことがありました。私が気付いて直ぐに返却したが、向こうからの返却がなく終わっていたことがありました。住所など記載されているものなので、今後は充分に確認をしていただいた上で渡してほしいと思いました。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	1	1	4	各マニュアルは策定済みです。また研修、訓練、訓練報告も行なっていますが、周知が不足している結果となったため、周知方法の再検討を行います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	0	1	6	BCPIは策定済みです。訓練は本年度内に行う予定です。実施後上記同様周知しやすい方法を検討します。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	2	0	2	週1回ミーティングにて、安全確保のための業務改善を検討する時間を設けています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	3	0	5	事故が起こった際には、報告書を作成しスタッフで再発防止に向けて話し合いの場を設け、今後の療育に繋げています。また、会社全体でも共有しています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	20	1	0	0	療育前後の入れ替えがスムーズに行えるように、フィードバック時に要点をまとめてお伝えできるように努めていきます。相談等で時間を要する場合は、別日で調整させていただきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	18	3	0	0	とても楽しみにしています！
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	1	0	0	先生方が子供の短所も長所もよく見てくださり、子供の気持ちにとっても寄り添ってくださっていて心から通所させてよかったと思っています。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
リハビリ発達支援ルームUTキッズ田原本		令和 7年 3月 18日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		物を纏めて置いています。(整理整頓)	定期的に物品の整理を行っています。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		難しい場合は他事業所と連携して手伝いに行ったり、来てもらったりしています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		室内は配慮されているが、玄関やトイレの段差はバリアフリー化はされていません。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		日々掃除をしているため、清潔は保たれています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		相談室を利用しています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		事業所目標で前期、中期、後期などを行い振り返りはしています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		アンケートなどを通して把握しています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		5	個々に話す時はあるが、全体を通してはできていません。全体で意見を出し合う機会は少ないです。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	第三者の評価は行われていません。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		研修の共有がされています。	
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	1	4	計画書は作成しているが、プログラムは作成されていません。5領域プログラムの公表はされています。	HPへの掲載などを周知していきます。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		聞き取りを行っています。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		計画書を作成する中で、今の現状や目標になる課題を共有したり、症例検討を行っています。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		パソコンやファイルからいつでも確認できるようになっています。計画書を確認し、計画に沿った支援を行っています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		保護者への聞き取りや観察から行っています。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		子どもの困り感などに応じて、保育所等訪問や家族支援を行っています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	1	4	計画書は作成しているが、プログラムは作成されていません。子どものニーズに合わせて活動内容の立案を出しています。	

への提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	1	4	プログラムは作成されていないので特になし職員間で遊びの共有をしたり、他職員の療育を見学したりしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		集団療育が必要な方に声を掛けています。複数人いる場合は集団療育も行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1	4	意識するようにはしているが、毎回はできていないです。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	4	意識するようにはしているが、毎回はできていないです。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		支援したことについては記録を付け、振り返りができるようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	1	4	相談支援員とのモニタリングは半年に一度行っています。半年に1回保護者から聞き取り等を行い、見直しをしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	3	2	自立支援や余暇活動等の居場所作りを行っています。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		視覚提示で選べるようにする等そのこどもにあった配慮を行っています。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		管理者が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		必要に応じて市町村や学校と連携をしています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		保護者を介して行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	保護者から児童の時の様子を聞くことはあるが、関係機関との情報共有はできていません。加配などの支援が必要だと保護者から相談を受けたときに、モニタリングなどの紙を記載し園や学校に情報を提供することはあります。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		5	小学高学年までの利用者しかいない為、提供したことがないです。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		5	支援センターとの連携はないが、他事業所や相談指導員との交流や研修は行っています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5	チラシなど提示することはあります。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1	管理者のみ参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		フィードバックの時等の短時間では相談できない時は、面談の実施をしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	研修のとしては開催できていないが、フィードバック時に困りごとに対してのホームプログラムを伝えるようにしています。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に伝えているが、内容が変わり次第伝え直しています。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		聞き取りや相談を行うことで意向を確認しています。		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		特にないです。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		フィードバックの時等の短時間では相談できない時は、面談の実施をしています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4	きょうだい同士の交流の場は設けられていません。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		話し合いをし全職員で共有できるようにしています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		インスタやブログ等で定期的に発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		鍵のかかる場所で保存しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		子どもと保護者の思いを汲み取るように努めています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	地域交流も目的の1つにしているが、招待をしているかは分かりません。事業所行事ではなく会社全体での行事に参加して地域交流を図っています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		計画を立てて訓練しており、実施した内容を掲示しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		計画を立てて訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		把握できるよう発達記録の記入をお願いしています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		把握できるよう発達記録の記入をお願いしています。食べ物を使う時は、事前に保護者に確認を行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全計画を作成しており、それに則り感染症や虐待などの研修を実施しています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		契約時に説明するようにしています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハットが起こった時に協議をし、再発防止できるようにしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		研修を行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		契約時に説明するようにしています。		